

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。

【「社会を明るくする運動」 入選標語】

町内の小中学生から応募のあった121作品の中から、白老地区推進委員会により以下の作品が優秀賞に選ばれました。(敬称略)

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------------------------|
| 【小学生の部】 | 白老小6年 | 江草優果 | 『やさしさを いつもだれかが 救われる』 |
| | 萩野小4年 | 工藤渚生 | 『「ありがとう」 その一言が みんなのエール』 |
| | 竹浦小5年 | 伊藤蓮 | 『勇気出せ 次へ進もう その足で』 |
| | 虎杖小2年 | 小田桐廉依 | 『がんばろう わすれられない きみのこえ』 |
| 【中学生の部】 | 白老中1年 | 山田龍海 | 『その言葉 言っているのか 考えよう』 |
| | 白翔中3年 | 本間優奈 | 『あいさつ大切 笑顔ええ顔』 |

【あいさつ運動】

関係機関が協力して地区推進委員会を組織し、各小中学校の校門付近で「あいさつ(声かけ)運動」を行います。

日程 7月3日(月) 7時40分 白老中 / 7月5日(水) 7時35分 白老小 / 7月7日(金) 7時50分 竹浦小 / 7月10日(月) 7時40分 白翔中・萩野小 / 7月11日(火) 7時40分 虎杖小

問い合わせ先：生涯学習課 生涯学習グループ ☎85-2020

再エネ

『太陽光パネル・蓄電池』の共同購入 参加者募集中!

グループパワーで、かしくチョイス。未来へつなぐおトクな一歩。

参加登録期間 3月22日～7月31日



みんなの
うちに
太陽光

電気代高騰でお困りではないですか? 太陽光パネル・蓄電池をみんなでのおトクに購入する共同購入の参加者の募集を開始しています。太陽光発電は電気代の削減が期待でき、災害時の電気の確保にも役立ちます。無料の参加登録をすると、自宅に導入した場合の見積りが確認できます。この機会におトクに購入しませんか? 本事業は北海道の主催事業で本町は共催しています。

選べる施工費込みのプラン&割引率

<p>1 太陽光パネル</p> <p>発電した電気を 自家消費 電気代を節約!</p>	<p>2 太陽光パネル+蓄電池</p> <p>昼間発電した電気を 夜間に使えて、 災害対策にも!</p>	<p>3 蓄電池</p> <p>太陽光パネル既設 卒FITにオススメ!</p>
<p>想定市場価格から*</p> <p>5.4%~15.0%OFF</p>	<p>想定市場価格から</p> <p>8.8%~13.8%OFF</p>	<p>市場価格から</p> <p>12.5%OFF</p>

*太陽光パネル・蓄電池の「想定市場価格」は、株式会社資源総合システムの市場調査結果により得られた市場価格に当社が把握している上記市場調査に反映されていない蓄電池メーカーによる蓄電池の販売価格の値上げ分(各メーカーの値上げ率に市場シェア率を乗じて加重平均して算出した率を上記市場価格に乗じた金額)を加えて算出しております。当該割引率は太陽光パネルの設置容量が4.0~7.2kWの場合です。*パネルの大きさや設置枚数により価格や割引率は変動します。

北海道 みんなのうちに太陽光 検索

<https://group-buy.jp/solar/hokkaido/home>



無料で視聴いただけるオンライン説明会を予定しています。また、専用WEBサイトや事務局への問い合わせも活用してください!

問い合わせ:

北海道 みんなのうちに太陽光事務局
☎0120-216-100
受付時間: 10時~18時(土・日・祝日を除く)

問い合わせ先：生活環境課 環境グループ ☎82-2265

知っておこう
アイヌ文化

シリカプ

イランカラプテ。太平洋を望む町内の砂浜でも、美しいハマナスの花を見かける季節となりました。白老地方のアイヌ民族による伝承の中には、この時期ならではの大型魚、メカジキにまつわる話が残っています。

メカジキはアイヌ語でシリカプと呼ばれ、昔はシリカプキキリ(シロスジコガネ)という虫が飛び始めるとシリカプ漁の準備をしたと言います。暖流に乗って回遊するシリカプは、クジラやイルカ、マンボウなどと共に白老だけでなく、胆振地方の太平洋沿岸で盛んに漁が行われ、イタオマチブと呼ばれる板綴り舟に朝の3時頃、2、3人で沖へ乗り出し、レパオナやキテと呼ばれる投げ鉤で、大きいものでは体長4メートル以上、重さ300キロを超え、性格は獷猛なシリカプを釣り上げるのですから、命がけの漁であったことが想像できます。昼頃には漁から戻り、獲れたシリカプをコタン(村)の全員で分け合い、それぞれの家に届けるのは子どもたちの仕事だったと言います。



白老では、昭和初期頃までシリカプの伝統漁が行われ、それと共に豊漁に感謝し、再来を願うシリカプの送り儀礼や調理法も伝えられてきました。脂分の多いシリカプは、長期保存には向いていないため、シリカプオハウ(メカジキの汁物)やチタタブ(たたき)、串焼きにして食べたと言います。

政策推進課 アイヌ政策推進室 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301